〔史跡の活用事例〕

「重富小学校の文化財探訪の取組」

１．学校名	姶良市立重富小学校
２．学年・人数	５年生　125 人
３．日時・場所	⑴　学習会等の日時・場所 令和６年 11 月９日（土）　史跡めぐり：総合的な学習の時間
４．活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	⑴　名称・時代 ア　市指定史跡　平松城跡（ひらまつじょうあと）：戦国時代 イ　岩剱神社（いわつるぎじんじゃ）：不明 ウ　国指定史跡　越前島津家の墓（えちぜんしまづけのはか）：江戸時代 ⑵　特徴 ア　平松城跡 平松城跡は，現在重富小学校敷地となっている。天文 23（1554）年，蒲生方の岩剣城が落城したのち，島津義弘が在番することになったが，山頂までの道のりが険しく日常生活には不便であったため山麓に屋形を築いた。これが平松城の始まりである。 イ　岩剱（いわつるぎ）神社 創建ははっきりしないが，天文 11（1542）年の棟札に，大檀那平重嗣地頭重清（おおだんなたいらしげつぐじとうしげきよ）と記されており，当社はこの年建立されたと推測される。天文 23 年島津貴久公が渋谷党に岩剱城を攻撃された時，田布施金峯山の座主某が，岩剱神社の神体を奉持して，白銀城の陣営に勧請した。公が，勝利すれば毎年祭祀に神舞を報賽せんと祈願されたところ，その夜半渋谷の兵は岩剱城を遁れ去った。翌日公は城に入り，岩剱の本社へ神体を遷された。このため，公は当社を軍神と称し尊崇されたという言い伝えがある。 ウ　越前（重富）島津家の墓 越前（重富）島津家は元文２（1737 年）年，島津氏 22 代島津継豊の弟忠紀を初代とし，断絶した越前島津家を復興するという形で始まった。
５．活用の取組において地域との連携や工夫した点等	地域の講師の方から，重富小学校５年生が総合的な学習の時間に「平松城跡地」，「岩剱神社」，「越前（重富）島津家の墓」等の校区内の史跡について説明を受けるなどの活動を行っている。
６．取組の様子（研究発表等）	 【ガイドから平松城の説明を受ける児童】 【ガイドから島津家の墓の説明を受ける児童】
７．感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	毎年，重富小校区内にある「平松城跡地」，「岩剣神社」，「越前（重富）島津家の墓」等の史跡について，地域の方がガイドとして，子供たちに詳しく説明してくださっている。この学習を通して，子供たちは，歴史と伝統に育まれてきた地域の中で生活していることに気付くとともに，地域の方への感謝，郷土への誇りと愛情を育むよい機会となっている。